

供給網を再設計

バイコスメティックス

中東情勢で深刻化する化粧品資材の調達難に対応

中東情勢の緊迫化が、化粧品資材の供給網に影響を及ぼしている。2026年2月末以降、イランを巡る地政学リスクの高まりを背景に、ホルムズ海峡の通航量は大幅に減少した。海運関係者によると、通航量は通常時の水準を大きく下回る状態が続いているという。ドバイ原油価格は一時1バレル166ドルまで上昇し、ナフサを原料とするプラスチック製品の供給に波及している。

化粧品容器「い」の声も出ており、1工程では完結しない。調達リードタイムは6カ月以上に長期化している。原料に依存する構造にある。このため原料価格の高騰や供給制約は、ボトルやポンプ、スポイトといった部材の不足に直結する。実際、国内の容器メーカーからは「納期の見通しが立たな



複線化で対応する供給戦略

こうした中、化粧品OEMのバイコスメティックスは、広州・紹興を中心とした調達網を活用し、主要包材について発注から約3カ月での納品体制を維持している。同社によると「供給網を複線化してきたことが、今回の対応力につながっている」という。

同社は、化粧品関連企業が集積する中国・広州地域で、複数の製造拠点を直接取引関係を構築し、平時から一定の生産量を確保する一方、供給途絶などの有事には別のハードルも高い。

安定供給が競争力を左右する時代へ

同様の供給不安は、過去のエネルギー価格の急変局面でも繰り返されてきた。今回の事態は一過性のものではなく、化粧品業界が抱える構造的な課題を改めて浮き彫りにしている。

化粧品市場では、商品供給力やブランド力の欠品がブランド価値の毀損に直結する。とりわけ競争力を左右する。供給体制の構築は、もはやコストではなく経営基盤として捉える必要がある。中東情勢の先行きは依然として不透明だ。不確実性が常態化する中で、企業が求められるのは予測精度ではなく、変化に耐える構造を持つことだ。供給網の設計そのものが、企業価値を左右する局面に入っている。

伊勢半「ヒロインの秘密」で耐久性を可視化

伊勢半が展開する耐久メイクブランド「ヒロインメイク」は、主力のウォータープルーフマスカラ「ヒロインメイク ロングUPマスカラ」をリニューアルし、3月9日に発売した。新色グレイブラックを追加するとともに、にじみにくさとキープ力を強化した。日常環境下での耐久性と仕上がり両立を図り、長時間にわたり印象的なまつ毛を維持できる処方へと進化させた。

近年は湿度や蒸気、マスの分泌をテーマに、ブク着用など、メイク崩れ要因が多様化している。同社はこうした使用環境の変化を踏まえ、従来の耐水性に加え、実生活での耐久性をより重視した設計にシフトした。発売を記念し、ブランドの世界観を体験できるポップアップイベント「ヒロインの秘密 by ヒロインメイク」を3月13日〜15日まで、Zerobase表参道で開催した。

私の H & B

日記

平成レトロブームの流れを受けて若年層の間で古着人気が高まっているという。コロナ前から、2000年前後の「Y2K」ファッションが注目を集める中、地球にやさしい「サステナブルファッション」として新たな顧客層を取り込む形が長期化している。

若年層が注目しているという「Y2K」時代、私はちょうど二十歳前後で、人生で最も「おしゃれ」に向き合っていた年頃だった。当時は裏原宿にショップを構える人気のお店に憧れ、古着ブームが長期化している。

「Y2K」に寄せて

県から都内遠征を繰り返しては、原宿通りから渋谷パルクまでの話題のショップを覗いて回った。なぜそんなに夢中だったのか。私のおしゃれ欲求が生まれたのと同じように、今なお記憶が鮮明で、3人には感謝の気持ちも湧いてくる。(書)



イベントは「ヒロイン」で可視化した点が特徴だ。来場者数は3日間で3700人を超えた。短期間のポップアップとしては高水準の集客となり、ブランドの認知力と商

ヒット商品

母子手帳



第488回 「HACCO . PANDA」 Ecotone

LVMH系の投資ファンドであるLキャタルトン・アジアが資本参加し、戦略的提携を進めるCiFLAV ORSグループにおいて、2024年10月の設立当初から独自の存在を示すがEcotone(エクトーン)だ。同社が25年9月にローンチした発酵スキンケアブランド「HACCO PANDA」は、今年3月に投入したシートマスクの好調を背景に、ドラッグストアやバラエティストアでの販売が加速している。一度使用したユーザーが確かな心地よさを感じ、日常使いしやすい価格帯も相まって、ブランドへの定着が進んでいる。鳥川氏は、かつて良品計画で化粧品開発の指揮を執った経歴を持つ。当時培った原料の生い立ちから深く入り込むモノづくりの姿勢は、現在も変わらない。自ら田植や稲刈りに赴き、契約農家と連携して原料調達から関与することで、中間コストを抑えながら高品質な処方を実現した。

また、CiFLAV ORSが提供するブランド・プラットフォームを活用することで、物流や購買、販売チャネルの開拓においてスタートアップとは思えぬスピード感で事業を展開している。直近ではドン・キホーテなどのインバウンド需要に強い店舗でも、日本産の発酵素材を用いた商品として海外客から高い支持を得ている。今後はLVMH系の資本背景やグループのブランド・プラットフォームを活用し、海外市場への進出を加速させる構えだ。(之)

最大の特徴は、一般的な化粧品の主原料となる水の代わりに、コメ発酵液を基材として贅沢に配合した点にある。原料には秋田県産の有機栽培米「あきたこまち」と、世界遺産・白神山地で発見された天然酵母を採用。独自の製法により、導入美容液では84%という高



独自開発のコメ発酵液を贅沢に配合